

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 8 月 10 日 (2006.8.10)

【公開番号】特開 2001-13390 (P2001-13390A)

【公開日】平成 13 年 1 月 19 日 (2001.1.19)

【出願番号】特願 平 11-181602

【国際特許分類】

G 0 2 B 7/02 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 7/02 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 27 日 (2006.6.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 第一、第二の光学特性面を有する円形状のレンズを支持するレンズ鏡枠において、

上記第一の光学特性面側で上記レンズと当接する受け面を具備し、

上記受け面は上記レンズがレンズ鏡枠に組み付けられた状態で、上記第二の光学特性面の球芯と略一致する球面で形成されることを特徴とするレンズ鏡枠。

【請求項 2】 レンズを支持し保持するレンズ鏡枠において、

二つの球面を互いに対向して有する円形状の上記レンズを支持するため、上記レンズの球面の一方の球面を受け、上記レンズの球面の他方の球面の球面中心を中心とする球面形状面をレンズ受け面とした円環状の枠部材を具備することを特徴とするレンズ鏡枠。

【請求項 3】 上記レンズ受け面は円環状に形成されていることを特徴とする請求項 2 に記載のレンズ鏡枠。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

すなわち第 1 の発明によれば、第一、第二の光学特性面を有する円形状のレンズを支持するレンズ鏡枠において、上記第一の光学特性面側で上記レンズと当接する受け面を具備し、上記受け面は上記レンズがレンズ鏡枠に組み付けられた状態で、上記第二の光学特性面の球芯と略一致する球面で形成されるレンズ鏡枠を提案することができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

また第 2 の発明によれば、レンズを支持し保持するレンズ鏡枠において、二つの球面を互いに対向して有する円形状の上記レンズを支持するため、上記レンズの球面の一方の球面を受け、上記レンズの球面の他方の球面の球面中心を中心とする球面形状面をレンズ受

け面とした円環状の枠部材を備えるレンズ鏡枠を提案することができる。